

頭取ごあいさつ



愛媛銀行
頭取 西川 義教

創業110周年を迎えて ～地域と共に次の時代へ～

当行は、本年9月16日に創業110周年を迎えます。大正4年にこの愛媛の地で創業して以来、地域の皆様と共に歩みを重ねてまいりました。瀬戸内の温暖な気候や自然の恵み、そして人と人とのつながりに育まれながら、地域の産業や暮らしを支える金融機関として、一步一步歴史を築いてまいりました。

こうして、創業110周年を迎えることができましたのも、ひとえに地域の皆様のご支援とご厚情の賜であり、心より感謝申し上げます。

当行では、現在、第18次中期経営計画「変革への挑戦3rd stage」に基づき、「金融プラス1」による収益力の強化、強固な経営基盤の確立、サステナビリティ経営という三つの柱を掲げて、着実にその取組みを進めています。

収益力の強化では、法人のお客様に対し、既存のネットワークや当行グループの総合力を活かして、業種特化型の支援や人材確保の支援への取組みを、またESG（環境・社会・企業統治）の視点を採り入れた投融資活動などを行っています。一方、個人のお客様には、「銀行をもっと身近に」をコンセプトに、スマートフォン専用の「HandyBank支店」の開設など利便性を図る新たなプロジェクトを展開しています。

次に、経営基盤の強化では、DX推進などの新たな基幹系システムの稼働、内部管理体制の整備・強化、政策保有株式の縮減などを通じて、効率性と健全性の向上を図っています。

さらに、サステナビリティ経営では、地域価値の創造や社会課題の解決を目指し、職員のキャリア形成の支援、温室効果ガス（GHG）排出削減、地域貢献に関する重要業績評価指標（KPI）の設定・管理にも取り組んでいます。併せて、若い世代の金融知識の涵養のため、小中高校、大学と連携して、金融経済教育にも力を注いでいます。

創業110周年という節目は、これまでの歩みを振り返ると同時に、これから地域の皆様にどのように関わっていくかを改めて考える機会でもあります。

変化の激しい時代にあって、地域の皆様お一人お一人にとって身近で頼れる存在、信頼される銀行であり続けられるよう、ご提案の質を高める姿勢、共に考える姿勢を大切にしていきたいと思います。

これからも、地域に根ざした着実な歩みを進めてまいりますので、どうか今後とも、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年7月吉日